令和７年６月６日

令和 7(2025)年度 第３学年 進路説明会

1. 指導方針

学校教育目標−意欲

「進んで自らの学習に取り組み、意欲的に自らの進路を切り拓く力を育む」

① 生徒・保護者と学校間の連絡を密にし、互いの信頼関係を保ち生徒の進路決定にあたる。

② 進路先に関する最終決定は生徒自身と家庭にあり、学校では生徒の個性や適性に合った将来を見通しての指導・助言を行う。

③ 指導・助言にあたっては、学年の協議に基づき学校・学年が一体となって行う。

2. 進路の種類

① 就職関係

手続きが進学より早く行われるので、担任と早めに相談する。

（1） ハローワーク(公共職業安定所)を通して行う。

（2） 家業を継ぐ。

② 専修学校・各種学校・高等職業技術校について

家庭や職場ですぐに役に立つ技能や一般教養を短期間に習得できる教育機関である。募集手続きが高等学校より早く行われるので、担任と早めに相談する。私立通信制の高校と連携することで、高校の卒業資格を得られるシステムをとる学校もある。

③ 公立高校（県内）について

※ A 資料をご参照ください。

※ 神奈川県外の公立高校を志願する場合は、早めに担任にご相談ください。

④ 私立高校

男子校、女子校、共学校など、それぞれの学校に特色がある。また、様々なコースを設けている学校がある。

〇特進コース・大学進学コースがある学校
〇外国語コース・国際関係コースがある学校
〇工業技術科・技術コースがある学校
〇商業コース・情報コースがある学校
〇体育コース・スポーツコースがある学校
〇保育コース・幼児教育コースがある学校

⑤ 高等専門学校（高専）

高等学校と同じく、中学校を卒業後に入学することができる。入学後は5年一貫（商船学科は5年6か月）で、一般科目と専門科目をバランスよく配置した教育課程により、技術者に必要な豊かな教養と体系的な専門知識を身につけることができる。

3. 進路選択の注意点

進路の選択にあたっては、自分の性格、適性、将来、身体条件、家庭環境、現在の学力などを総合的に判断し、「中学時代どんなことを頑張ってきたのか」「進学先で何をしたいのか」「そこで学んだことを基に将来何をしたいのか」を考え、その上で、進学を希望する場合は、その学校の教育方針、校風、伝統、卒業後の進路、通学時間（距離）、合格の可能性などを考慮して選択する。

《特に留意してほしいこと》

① 日常の生活や学習を大切にする。
② 進路を最終決定するのは本人並びに家庭なので、家庭で十分に話し合う。
③ 中学時代に頑張ったことや熱中したこと、自分自身の特技や長所（短所も長所に言い換える）などを言えるようにしておく。
④ 噂や誤った情報に惑わされず、正しい情報を基に進路の選択を考える。心配な点や不明な点は学級担任や進路担当に相談する。また、正しい情報は中学校に集約されるので、中学校を信頼して正しい進路選択の判断をするよう心がける。
⑤ 学校説明会や体験入学などは積極的に参加する。その学校の様子を知る良い機会になるだけでなく、学校によっては受験資格の1つにしているところもある。

4. 令和８年度の公立高校選抜

※1 神奈川県公立高等学校入学者選抜について
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kanagawa.html

※2「令和８年度募集案内」でご確認ください。（7月ごろにHPにアップ予定）

① 共通選抜（全日制・定時制・通信制の課程）
② 定通分割選抜（定時制（夜間）・通信制の課程）
③ 二次募集

（注）その年度の入学者選抜における国公私立の高等学校（高専を含む）または特別支援学校の**合格者になっていない人が志願できます。合格者は、入学手続きの有無に関わらず、志願することはできません。**

※3 はいすくーる・わんだーらんど （神奈川県の高校紹介 HP）

「輝け君の明日」は今年度よりデータのみの掲載に変わります。今後掲載されたら生徒へ案内します。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/tokushoku/hsw/

神奈川県公立高等学校（以下、高校）への進学をめざす皆さんに、各高校の魅力と特色を知っていただき、自分の個性や興味・関心に応じて高校を選ぶことができるよう、各高校がそれぞれ工夫した学校紹介ページを中心に作成したものです。

※4 統合計画 【〇が活用校】

令和８年度開校

・横浜北東・川崎地域 総合学科（〇田名高校・麻生総合高校）

・中・県西地域（〇小田原城北工業高校・大井高校）

令和９年度開校

・横須賀三浦・湘南地域 単位制普通科（〇藤沢清流高校・深沢高校）

・横浜南西地域 普通科（〇旭高校・横浜旭陵高校）

・横浜南西地域 単位制普通科（〇横浜桜陽高校・永谷高校）

（近年の公立高校受験の変更点）

① 多くの学校で面接が廃止。

② 多くの学校でインターネット出願が基本。

③ インターネット出願サイトについて、練習用サイトが準備される予定。

5.私立高校の入試

・一般に、調査書、入学試験、面接に基づいて、各高校独自の選考基準で選考される。

・学習成績の他に資格や特別活動の実績、欠席・遅刻・早退などが重視される場合もある。

私立高校の選抜方法

選抜方法		学力試験	他の受験校	校長推薦
推薦		原則なし	公立高校には志願せず私立高校1校を推薦により受験する。	必要
一般入試	単願 専願	あり	公立高校には志願せず私立高校1校を一般入試で受験する。	無し
	併願	基本的にはありだが、ない学校も増加	公立高校を受験し、同時に私立高校1校を併願する。	無し
	オープンなど	あり	私立・公立とも併願可である。 (ただし、他校のオープン受験を認めていない私立もあるので注意する。)	無し

・私立高校の受験日は、県内・都内とも特定の期間に集中するので注意する。

・保護者、生徒向けの学校説明会・見学会を行う学校が多いので積極的に参加する。

・調査書・入学試験（国・数・英がほとんど）・面接の結果で総合的に合否を判定する場合が多い。

・公立高校との併願者に対し、入学金等の延納を認める学校もある。

・オープン受験を複数校する場合は、受験の日程と希望順位を明確にすることが必用。

6.進路指導に関するお願い

① 字体・内容の統一

中学校から高校に提出する「調査書」と各自の提出する「願書」等の「氏名」「記載内容」等を一致させます。夏休み以降に用紙を配付する「**記載事項確認書**」をもとに「字体」「内容」を統一します。また、資格は「認定証」が必要です。

② 情報の収集と整理

中学校からは近隣の学校の情報を中心に提供しますが、生徒本人が自ら情報を集めることが大切です。また、他都道府県の高校を希望される場合は、早めに担任にご相談ください。進路希望は「**進路希望調査用紙**」を使って集約していきます。

③ 進路希望調査用紙について

年間全3回の進路希望調査を予定しており、12月の三者面談で私立高校については、決定となります。公立高校は年明けには確定できるようにご協力をお願いいたします。この用紙を基にお子様の進学先を決定していきますので、次の注意点をご確認の上、記入をお願いいたします。

記入上の注意事項

① よくご家族で話し合って黒のボールペンでご記入ください。
② 基本的には,私の考え以外は保護者の方がご記入ください。
③ 提出期間をご確認の上,期日厳守でお願いします。
※詳細は「令和7年度神奈川県公立高等学校入学者選抜 募集案内」をご参照ください。

7.奨学金制度について

高校で勉強する能力も熱意があるが、経済的条件で就学が困難な人のために、学費を援助する奨学制度というものがあります。

申し込みの時期、金額、返還の有無等は様々です。いずれにしても、無条件で奨学制度を受けられるわけではありません。成績・人物・家庭の経済状態等に基準があります。募集の案内は、その都度進路情報に載せますので、必要な方は学級担任まで相談して下さい。なお、高校に進学してからの奨学金制度もある学校もあります。

<例> **私立高等学校等学費支援(国・県の制度)**

あしなが育英会 日本育英会 病気遺児の高校進学を支援する会
災害遺児の高校進学をすすめる会 横須賀市奨学金 母子福祉資金 世帯更生資金貸付制度
育英特別奨学金 厚生関係育英奨学金 高等学校定時制課程奨学金
私立高校生徒学費補助金 私立専修学校高等課程生徒学費補助金